

業務改善の実施状況報告

組織名	三八上北森林管理署	連絡先	0176-23-3551
所管する業務の概要	三八上北森林計画区（青森県の東部）における国有林野の管理経営、治山事業等の実施		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・請負事業体や地元住民などと直接対応する機会が多いため、親切・誠実な対応を心がけている。 ・出先の森林事務所では、周辺住民へあいさつ、除草・ゴミ拾いなど環境整備を行っている。	・親切・誠実な対応はほぼ定着しているが、さらに接遇マニュアルのポイントなどを参考に取り組むこと。 ・電話対応では、本人が不在の場合、こちらから相手に電話をかけるよう手配するなど、より一層のサービスに心がけること。 ・出先の森林事務所では、外業が多いため身だしなみを整えるのが難しい分、明るい対応に努めること。
・造林・素材生産・治山等の現場での事業が円滑に実施できるよう、諸手続きを早めに対応するよう心がけている。	・前年に比べ間伐などの事業量が増加しているが、早めに準備を行い円滑に事業を進めている。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・国民ニーズの把握のため、会議や行事などに積極的に参加し、機会をとらえて要望などを聞くように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・署長や森林官を中心に地元行事などに積極的に参加し、得られた情報の共有に努めた。 ・公務員は転勤があるため、地域の情報が後任に確実に伝わるよう情報の蓄積に努めること。
<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民に国有林への理解を深めていただく取組みとして、環境祭や国有林見学会を開催している。 ・危機管理として最も重要なものは、林業労働災害や自然災害への対応であり、発生時の対応マニュアルをもとに緊急連絡訓練等を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国有林見学会（森と木を知るツアー、松見の滝見学会）、森林の恵みの環境祭等、計画どおりに開催できた。 ・多くの方々に参加の機会が得られるよう開催案内を見直し、実施結果についても事業のPRを含めて広く周知すること。 ・夜間や休日の連絡体制を整備し、捜索活動の応援にも対応できた。 ・危機管理の一環として、職員一人ひとりが事故や災害に対応できるよう訓練すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・従来から労働安全の取組みとしてヒヤリハットに取り組んでいる。 ・国有林は地域の水源林として重要な役割を担っているため、伐採や工事にあたっては、流水の処理等を確実に行うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全だけでなく担当する業務全般でヒヤリハットの取組みを活用すること。 ・間伐などの事業実行に当たり、作業路での水処理や溪流の保全を適切に行うよう監督している。 ・さらに水道や農業用水の取水口を確認し、流域の情報を職員や請負事業体で共有すること。

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が意見を言える雰囲気づくりのための声かけや、業務の平準化のための職員のサポートに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに業務量が多い職員のサポート、森林事務所間の連携に努めること。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・特になし	